

# ウェブアクセシビリティについて

---



# ウェブサイトを使用するにおいて

---

大事になってくるのは使いやすさ

高齢者にとっての文字の小ささ

文字のみだと、視覚障害者が情報を得られない

見辛い配色や文字の位置

そこで必要となってくるのがウェブアクセシビリティ

# ウェブアクセシビリティとは

---

アクセシビリティとは、元々「近付きやすさ」「接近できること」を意味する英単語

高齢者や障害者などの身体的機能に制約のある人でも、年齢・身体的条件に関わらずウェブで提供されている情報にアクセスして利用できること。

ウェブサイト上におけるアクセスのしやすさ。

# ウェブアクセシビリティと ユーザビリティ

---

## ウェブアクセシビリティ

様々な人、多様な状況を前提とした使いやすさを意味する

## ユーザビリティ

特定の人、特定の状況での使いやすさを意味する

高齢者や障がい者の人でも使いやすい→アクセシビリティ

医者やプログラマーの人が使いやすい→ユーザビリティ



# ウェブアクセシビリティと ユニバーサルデザイン

---

ウェブアクセシビリティ

使いやすさの度合い

ユニバーサルデザイン

使いやすくするための考え方

どれだけ使いやすいか→アクセシビリティ

どうやって使いやすくしようか→ユニバーサルデザイン

# 見やすさの物差し

---

人によって見やすさは違ってくる

誰かにとっての使いやすさが万人にとっての使いやすさだとは限らない

基準を作る必要が出てくる。

# JIS X 8341-3:2016 とは

---

JIS（日本工業規格）の一種

正式名称は「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第三部：ウェブコンテンツ」

高齢者や障害のある人を含む全ての利用者が、使用している端末やウェブブラウザ、支援技術などに関係なく、ウェブコンテンツを利用することが出来るようにすることを目的としている。

品質基準として、レベルA、レベルAA、レベルAAAという三つのレベルの達成基準が定められている。

# JIS X 8341-3 レベルA

---

25項目ある

非テキストコンテンツの達成基準

色の使用の達成基準

キーボードの達成基準

一時停止、停止及び非表示の達成基準

ブロックスキップの達成基準

ページタイトルの達成基準



# JIS X 8341-3 レベルAA

---

13項目ある

キャプション（ライブ）の達成基準

コントラスト（最低限レベル）の達成基準

文字画像の達成基準

フォーカスの可視化の達成基準

一部分の言語の達成基準

一貫したナビゲーションの達成基準

# JIS 8341-3 レベルAAA

---

23項目ある

手話（収録済み）の達成基準

音声だけ（ライブ）の達成基準

視覚的提示の達成基準

タイミング非依存の達成基準

再認証の達成基準

ヘルプの達成基準



## まとめ

---

様々な人がインターネットを使うようになった昨今。使いやすさというものは必要になってくる。

一人が見やすいと言っても、それが万人受けするとは限らないため基準を設定する必要がある。

その基準とは「誰でも、どのような環境でも、同じように情報を得ることが出来る」という事。

その基準を定めるものとして「JIS 8341-3」が存在している。

# 使用ウェブサイト

---

[ウェブアクセシビリティとは：みんなのウェブ \(nict.go.jp\)](http://nict.go.jp)

[アクセシビリティとは？Webにおけるポイントも含めて具体例を交えて解説 | 株式会社ニジボックス \(nijibox.jp\)](http://nijibox.jp)

[JIS X 8341-3:2016 解説 \(waic.jp\)](http://waic.jp)